



工場の祭典
Factory Festival

10月2~5日の4日間、多くの工場が参加する「燕三条 工場の祭典」が開催され、台風の影響で不安定な天気でしたが、県外、海外からも連日たくさんのお客様にお越しいただきました。年1回のこのイベントはまるで工場が開催するバザーのようで、お迎えする私達も楽しく過ごすことができました。ご協力いただきました皆様、本当に有難うございました！

「燕三条 工場の祭典」はバザーのよう！！



職人自らが工場の内側までご案内する「バックヤードツアー」では、作業している職人の傍らでその仕事を見ることができます。今回も大人気で、合計170名様の申込みがありました。

合刃あいは作業では、熟練職人の真後ろから刃の隙間を確認するためにかざした光をご覧いただき、



作業の緊張感も感じてもらえたようです。

5日は昼の休憩時間に鍛造工場がコンサート会場に変身。三条市吹奏楽団様のサックスや金管楽器奏者9名にお越しいただいて迫力の生演奏を披露。一音が奏でられただけで吸い込まれ、あっという間の45分間でした。

この「バックヤードツアー」と「ファクトリーコンサート」は人気企画として定番になっていきそうです。次回も企画する予定ですので、まだ体験されていない方には特にお薦めいたします。



Blanking Art 展に精霊現る！！(ブランкиングアート展は10/31まで)



9/20、燕三条駅 Wing に SUWADA の精霊が現れ、連日来場者の視線を釘付けにしています。もともと、鍛造した際に出る排材(ブランク材)を使って、シャンデリアやテーブルランプなどを作っていましたが、今回挑戦したのは、高さ2mの人形オブジェ。骨格のサイズは SUWADA 社長から採寸、人体図鑑を傍らにして筋繊維まで鋼鉄を使い忠実に再現しました。本物の鋼材を熱して火造りをし、曲げたり叩いたりしてピースを作り熔接して仕上げます。職人達の情熱が込められ、今にも動き出しそうでちょっと怖いです(汗)。

2体目の精霊は、工場の祭典初日 GALLERY の正面に出現。鋼鉄は雨に打たれ赤錆色に変わり、心臓部の「つめ切りミラー」(ステンレス)だけがひときわ輝いて見えます。突如現れた精霊は大人気で、お客様の撮影スポットにもなりました。型に抜かれて製品になった「自身の一部」を求めて夜な夜な工場を徘徊する…という“物語”までついて、オブジェは今後の広がりもみせてくれそうです。



今後のイベント・出展情報

11/12~14 香港コスモプロフ・アジア 2014 出展

<この件に関するお問い合わせ>

(株) 諏訪田製作所 総務 小林 TEL: 0256-45-6111 e-mail: suwada@suwada.co.jp